

掲載元：南日本新聞社
日付：10月31日(火)

知的男女共通400mリレー

心一つつないで3位

陸上の男女共通400mリレー(知的)の鹿児島は、3位に食い込んだ。全員で練習する機会が限られた中、互いに声をかけ合って、バトンをつなぎきった。「メンバーの心が一つになるレース」(上井芳久監督)で大会を終えた。

1走の池田悠華(鹿屋市)は前回大会、前日のけがでリレーに出走できなかった。悔しさをバネに疾走、3位で久木留清(薩摩川内市)にバトンをつないだ。久木留は順位を保ったまま快

「ワンチーム」

走、ともにチームを引っ張る3走の西智史(鹿児島市)も得意のコーナーを駆け抜けた。3走から4走へのバトンは、複数チームが入り乱れた。アンカーの大悟朗(大島特別支援学校)は、他チームが進路も走りたい」と意欲を見せた。(藤本わかな)

400mリレー、鹿児島の第1走者 池田悠華(右)から久木留清(左)にバトンリレー



(税所陸郎撮影)



陸上の男女共通400mリレー(知的)で3位に入った鹿児島

れたが切り替え、2人追い抜きゴールした。池田は「満足のいくレース」と笑顔。個人種目でメダルを逃した久木留は「みんなにありがとうと言いたい」。声かけを率先してきた西は「自分と仲間を信じてやりきった。初出場の東は「みんな楽しんで」という雰囲気